

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年12月4日～2017年12月10日】

[当地報道をもとに作成]

平成29年12月20日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼露副首相のアブハジア訪問(8日)

・フロポニン露副首相およびクヴネツォフ露北コーカサス担当相がアブハジアを訪問。ソフミにて「社会・経済協力政府間委員会」会合が開催され、2017年から2019年までのロシアによるアブハジアへの投資プログラムの実施について議論された。

## 2. 外 政

#### ▼スイス大統領のジョージア訪問(3日-4日)

・ロイトハルト・スイス大統領がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相らと会談。

・「マ」大統領との会談では、被占領地域の状況、対露関係、地域情勢などについて議論。ジョージア・露関係におけるスイスの特別な役割に焦点が当てられ、「マ」大統領は仲介者としてのスイスの役割に感謝を述べた。拡大フォーマットでの会談では、ジョージアとスイスの経済関係、ジョージアの投資機会の活用、ジョージアに対するスイスの支援などについて議論された。

#### ▼モンテネグロ国会議長のジョージア訪問(3日-5日)

・ブラヨヴィチ・モンテネグロ国会議長がジョージアを訪問し、マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相らと会談を行なった。

・「コ」国会議長との会談では、二国間関係の更なる深化に向け、経済・観光分野における協力および政治的関係の発展の重要性が強調された。

・「ブ」モンテネグロ国会議長は、ジョージアのEU・NATO加盟に向けたプロセスを支援する用意を表明した。会談後、「コ」国会議長は、「EU・NATO加盟に関するモンテネグロの成功は、ジョージアにも大きな希望をもたらすものである」と述べた。

#### ▼外相のブリュッセル訪問(4日-5日)

・ジャネリゼ外相がブリュッセルを訪問し、NATO 外相会合および NATO・ジョージア委員会会合に出席。会合でストルテンベルグ NATO 事務局長は、欧州・大西洋地域の安全保障へのジョージアの貢献に対する感謝を述べた。NATO・ジョージア協力、NATO・ジョージア実質的パッケージの進捗、黒海地域の情勢などについて議論された。

・ブリュッセルにて「ジャ」外相は、「ス」NATO 事務局

長、ティラーソン米国務長官、アルファード伊外相らと会談。

#### ▼サーカシヴィリ前大統領の拘束(5日)

・5日、キエフ市内の自宅にてサーカシヴィリ前大統領(現ウクライナ野党党首)がウクライナの治安機関により拘束された。「サ」前大統領は犯罪組織の支援および犯罪活動の隠蔽の容疑で起訴されている。

・しかし、支持者らが「サ」前大統領が乗った治安機関の車を取り囲み、約4時間にらみ合った後、強引に「サ」前大統領を解放した。「サ」前大統領は、ウクライナの検察長および治安機関の代表者の辞任を求めるとともに、ポロシェンコ・ウクライナ大統領の弾劾手続きを開始すると発言。

・その後、ウクライナ検察は「サ」前大統領を指名手配した。

・6日、統一国民運動が、「サ」前大統領に対する支持を謳い、「ポ」ウクライナ大統領とイヴァニシヴィリ前首相による「オリガルヒ体制への反撃」と銘打った抗議デモをトビリシ市中心部で開催。

・「サ」前大統領は8日夜に再び拘束された。

#### ▼国会議長のスウェーデン訪問(5日-8日)

・コバヒゼ国会議長がスウェーデンを訪問し、スウェーデンの国王カール16世グスタフ、アフリン国会議長、ヴァルストレーム外相、ストックホルム市議会議長らと会談。国王はジョージアの領土一体性・主権および欧州との統合の追求に対する支持を表明した。「コ」国会議長はジョージアのEU・NATO加盟プロセスに対するスウェーデンの支援に感謝を述べた。

#### ▼エルサレム問題(7日)

・エルサレムをイスラエルの首都と認めるとのトランプ米大統領の発表を受け、外務省が声明を発表。声明は、イスラエル・パレスチナ紛争の平和的な解決に向けた国際社会の努力を支持しているとして、「事態の今後の進展を注視しつつ、パートナー諸国との協議を継続する」と述べている。

・与党のシャレラシヴィリ議員が、フェイスブック上でクヴィリカシヴィリ首相に宛てた公開書簡を発表。書簡は、ジョージア政府が米国の決定に続くよう呼びかけている。一部の与党議員および愛国者連合のイナシヴィリ議員が「シャ」議員の考えに対する支持を表明。しかし、「ク」首相は、機微な問題に関する公開書簡の発表は受け入れられないとして、「我々はこの問題について議論せねばならない。ジョージアは国際的な状況および地域の脅威を考慮し、国益に基づいて立場を明らかにするだろ

う」とコメント。

### ▼第24回OSCE外相会合(7日—8日)

・ウィーンにて開かれた第24回OSCE外相会合にジャンネリゼ外相が出席。前回の会合以降の被占領地域におけるロシアの軍事的プレゼンスの増大、軍事訓練、「通過点」の閉鎖、障害物の設置、母語による教育の禁止、ジョージア人避難民の所有する家屋の解体などを国際法違反として、民族差別を止めるためにOSCEおよびその他の国際機関によるメカニズムの活用を呼びかけた。

・「ジャ」外相はグレミンガーOSCE事務局長、ナルバンジャン・アルメニア外相、ソイン・フィンランド外相らと会談。「ナ」アルメニア外相との会談では、二国間関係・経済協力、ペルシャ湾・黒海物流回廊の発展に関する協力などについて議論した。

## 3. 内 政

### ▼国会での政府組織の再編案の承認(7日)

・国会は一部の省庁の再編に関する政府の提出した法改正案を承認。再編が人員・予算に及ぼす影響が示されていないとして野党は法改正案に反対した。

・法改正により、エネルギー省が経済・持続的発展省に統合される。環境・天然資源保護省は分割され、天然資源に関する部局は経済・持続的発展省に、環境に関する部局は農業省に統合され、環境保護・農業省となる。スポーツ・青年問題省も分割され、青年問題に関する部局は教育科学省に、スポーツに関する部局は文化・遺跡保護省に統合され、文化・スポーツ省となる。その他、内

務省の緊急事態対策局と首相直属の国家保安危機管理評議会の統合により、新たに緊急事態対策センターが設置される。

・当初は、首相直属の対外諜報局の国家保安庁への統合も予定されていたが、野党、市民組織および与党内からも反対の声が上がり、政府は撤回を決定した。

## 4. 経 済

### ▼2017年11月のインフレ率(4日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は1.1%。輸送費が2.8%、食料品・非アルコール飲料の価格が0.8%上昇、アルコール飲料・タバコの価格が1.7%上昇。

・年間インフレ率は6.9%。食料品・非アルコール飲料の価格が7.5%、輸送費が15.8%、アルコール飲料・タバコの価格が19.4%、医療費が6.4%上昇。

### ▼2017年11月の入国者数(4日)

・内務省が発表。2017年1月～11月の入国者数は6,954,932人、前年同期比18.4%増。

・出身国別では多い順にアゼルバイジャン(前年同月比10.9%増)、アルメニア(同14.9%増)、ロシア(同33.4%増)、トルコ(同3.2%減)、イラン(同121.1%増)。英国、オーストリア、オランダなどEU諸国の他、ヨルダン(同327.2%増)、サウジアラビア(同165.7%増)、クウェート(同152.4%増)、インド、ウズベキスタン、中国などからの入国者数が増加。

・2017年11月の入国者数は524,108人、前年同月比14.1%増。